

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●五十嵐雄祐騎手が史上単独9位となる障害147勝を達成

6月19日(日)の3回東京6日・第1レースではニシノデイジーが1着となり、同馬に騎乗した五十嵐雄祐騎手(美浦・田村康仁厩舎)は、JRA障害通算147勝(障害1456戦目)を達成しました。これは長池辰三元騎手の146勝を抜き、JRA史上単独第9位の記録となります。

●D.レーン騎手がJRA通算100勝を達成

6月19日(日)の3回東京6日・第9レースとして行われた町田特別ではレインフロムヘヴンが1着となり、同馬に騎乗したダミアン・レーン騎手(豪)は、JRA通算100勝(427戦目)を達成しました。現役では101人目の記録となります。

●全国ポニー競馬選手権「第12回ジョッキーベイビーズ」開催

全国ポニー競馬選手権「ジョッキーベイビーズ」が3年ぶりに開催されることとなりました。地区代表決定戦・選考会は、7月3日(日)の沖縄地区から8月21日(日)の東北・新潟地区および関西地区まで計7地区で行われ、関東地区2名、その他の地区から各1名の計8名を代表として選出。決勝大会は毎日王冠(GⅡ)が行われる10月9日(日)の4回東京2日、最終レース終了後に東京競馬場の芝コース・直線400mで実施される予定です。

●アカイトリノムスメらの競走馬登録抹消

2021年秋華賞(GⅠ)などの勝ち馬アカイトリノムスメ(牝4歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算8戦4勝)、2020年アンタレスS(GⅢ)の勝ち馬ウェスターランド(騾10歳/栗東・佐々木晶三厩舎/JRA通算34戦6勝・地方5戦0勝)、2019年チャレンジC(GⅢ)の勝ち馬ロードマイウェイ(牡6歳/栗東・杉山晴紀厩舎/JRA通算26戦6勝)は、5月17日(火)までに競走馬登録を抹消されました。アカイトリノムスメは繁殖馬となる予定ですが行き先は未定。ウェスターランドは乗馬となり、ロードマイウェイは地方・船橋競馬に移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●2024年に3歳ダート三冠競走を創設

2・3歳馬競走の体系整備の一環として、2024年から羽田盃(4月下旬、大井、1800万円、1着賞金5000万円)、東京ダービー(6月上旬、大井、2000万円、1着賞金1億円)、ジャパンダートダービーから名称変更予定の競走(10月上旬、大井、2000万円、1着賞金7000万円)を3歳ダート三冠競走に位置付けてJpnⅠ格付けとし(いずれも驕馬は出走不可)、三冠達成馬には8000万円のボーナスが交付されることが発表されました。なお、兵庫チャンピオンシップ(JpnⅡ、5月上旬、園田)は、現行の1870万円から1400万円に短縮されます。

●北海道と金沢で二冠馬が誕生【各地の主要3歳重賞】

北海優駿(6月16日、門別、2000万円)は、3番手を進んだ単勝1.7倍で断然人気のシルトブレ(牡、父ワールドエース)が直線半ばで内を通過して抜け出し、北斗盃に次ぐ北海道二冠を達成。石川ダービー(6月21日、金沢、2000万円)は、3番手から2周目3コーナーで先頭に立ったスーパーバンタム(牝、父アポロソニック)が3馬身差で楽勝、単勝1.3倍の圧倒的支持に应运えて重賞3連勝を果たしました。

●6月29日の帝王賞(大井)にテーオーケインズら強豪が集結

帝王賞(JpnⅠ、6月29日、大井、2000万円)は、連覇を目指すテーオーケインズが中心、以下東京大賞典4勝のオメガパフューム、ドバイ帰りのチュウワウイザード、クリンチャー、スワーヴアラミス、オーヴェルニュー、メイショウハリオの順に有力視されます。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1プラチナジュビリーS～グレナディアガーズは19着

イギリスのアスコット競馬場で現地6月14日から18日にかけて開催されたロイヤルアスコットの最終日に行われたG1プラチナジュビリーS(4歳上、芝1200m)に日本から参戦したグレナディアガーズ(牡4歳、父フランケル、栗東・中内田充正厩舎)は中団追走から最後の伸びを欠いて19着に終わりました。勝ったのは、J.ドイル騎手を背に、二手に分かれた集団のうち、外ラチ沿いで先行したネイヴァルクラウン(牡4歳)。これがG1初制覇となりました。なお、クビ差の2着には馬場の中ほどを通った集団にいたクリエイティブフォースが入り、ゴドルフィンが所有し、C.アップルビー厩舎に所属するドバウイ産駒が1、2着を占めました。

●G1仏オークス～ナシュワが女性のドイル騎手とのコンビで優勝

6月19日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG1仏オークス(3歳牝、芝2100m)はイギリスのナシュワ(牝3歳、父フランケル、J&T.ゴスデン厩舎)が先行策から早目に先頭に立つと、最後はラパリジェヌの追い上げを短クビ差振り切って優勝。3着だったG1英オークスから中15日での参戦を果らせてG1初制覇を果たしました。鞍上のH.ドイル騎手は、女性騎手として初めて、G1格付けされている欧州のクラシックレースを制す快挙を成し遂げました。